



テレワーク・デイズ 2019 & スムーズBiz推進期間 プレイベント 式次第

日時: 令和元年7月1日(月)15:00~17:00 (14:00 受付開始)

会場: イノ・ホール

主催: 総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、内閣官房、内閣府、東京都

共催: 一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、東京商工会議所

公益社団法人経済同友会、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会

一般社団法人日本テレワーク協会

司会進行 宮瀬 茉祐子(フリーアナウンサー)

- 1. フォトセッション (15:00-15:15)**
主催・共催者、テレワーク・デイズ 2019 特別協力団体、スムーズBiz関係団体、ほか
- 2. 周知動画紹介 (15:15-15:25)**
桜井 日奈子(テレワーク・デイズ 2019 推進キャラクター)
- 3. 主催・共催者挨拶 (15:25-15:45)**
総務大臣 石田 真敏 (ビデオメッセージ)
経済産業省 大臣政務官 滝波 宏文
東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣 鈴木 俊一
一般社団法人日本経済団体連合会 副会長・デジタルエコノミー推進委員長 篠原 弘道
- 4. パネルセッション (15:45-16:55)**
モデレータ 株式会社テレワークマネジメント 田澤由利
セッション1 「人の流れを変える働き方改革」
登壇者: 向洋電機土木株式会社、住友商事株式会社、トヨタ自動車株式会社、
富士通株式会社、三井住友海上火災保険株式会社
セッション2 「物の流れを変える業務改革」
登壇者: アサヒビール株式会社、味の素株式会社、
株式会社セブン-イレブン・ジャパン、東京ガス株式会社
セッション3 「新たな動きを創る社会改革」
登壇者: WeWorkJapan 合同会社、愛媛県西条市、シスコシステムズ合同会社、
株式会社セールスフォース・ドットコム、東京急行電鉄株式会社、
日本マイクロソフト株式会社(MINDS)
- 5. 2019 夏の取組に向けて (16:55-17:00)**
東京都知事 小池 百合子

※プログラム終了後、ホワイエにて登壇企業と参加企業の意見交換会(自由参加)を行います。

アサヒビール株式会社



東京2020大会開催期間中の交通緩和の取り組み

物資の移動は3割以上の分散・削減を目指す

～テレワークやフレックスを活用し、**人の移動の削減**も目指す～

▽物資（原材料や商品など）の移動に関わるもの

区分	検討中の取組み内容	目標
削減	<ul style="list-style-type: none">・東京港で受入している原材料（麦芽など）の一部や輸入商品（ワインなど）の大部分の受入時期を前倒し・輸入商品（ワインなど）の受入港を東京港以外へ変更	約6%の削減 (約9台/日)
分散	<ul style="list-style-type: none">・東京港から茨城工場へ搬入している原材料(麦芽など)、工場（茨城・神奈川）から都内配送センターの転送及び該当エリア内のお得意先様への配送をピーク時間帯以外へ変更	約29%の分散 (約42台/日)

▽人の移動に関わるもの

区分	取組み内容
削減	<ul style="list-style-type: none">・テレワーク推奨日の設定・夏季休暇含む年休の計画的取得の推進・出張時期の変更・TV会議の活用による出張回数の抑制
分散	<ul style="list-style-type: none">・モバイルワークによる直行または直帰型営業活動の推奨・半日休暇制度の推奨・フレックスの活用によるオフピーク通勤の推進

味の素株式会社

Eat Well, Live Well.



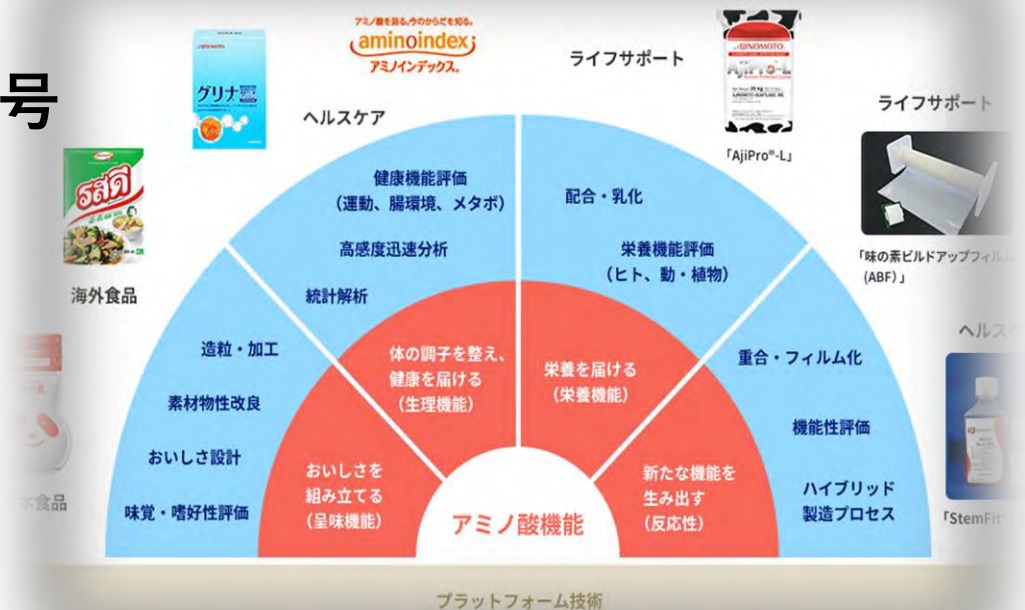
I. 味の素(株)の紹介

会社概要

【商号】	味の素株式会社
【本社所在地】	東京都中央区京橋一丁目15番1号
【創業】	1909年5月20日
【資本金】	79,863百万円
【連結売上高】	11,502億円 (2018年3月期)
【従業員数】	3,494人 (単体) (同上)
	34,504人 (連結) (同上)

【事業内容】

- ・ 食品：日本食品・海外食品
(調味料・加工食品・嗜好飲料・冷凍食品)
- ・ ヘルスケア：健康機能食品・健康機能評価
- ・ ライフサポート：電子材料・医薬原料
- ・ その他：物流、包材等



Ⅱ. スムースビズ物流施策の目的と対応策

• 目的

- 必ず発生するBCPとして発着荷主・物流会社が協力してアクションプランを作成・準備する事で東京オリンピック・パラリンピック（以下オリパラという）におけるサプライチェーン・物流オペレーションの円滑化を図る。
- オリパラを契機に持続可能な物流施策を行政と連携して進める事で、施策の実効性の向上と2020年以降の大会のレガシーとする。

• 対応策

• 配送難易度別物流施策

- 首都圏を中心とするオリパラMAPに物流拠点と納品先をマッピング。
- MAPを元に大会会場・首都高環状線（東京港）/外環/圏央道を同心円として捉え、配送難易度と対応策のマトリクスを作成し、食品各社やTDM事務局と連携し着荷主・納品先との具体的なアクションプランを計画・実行する。

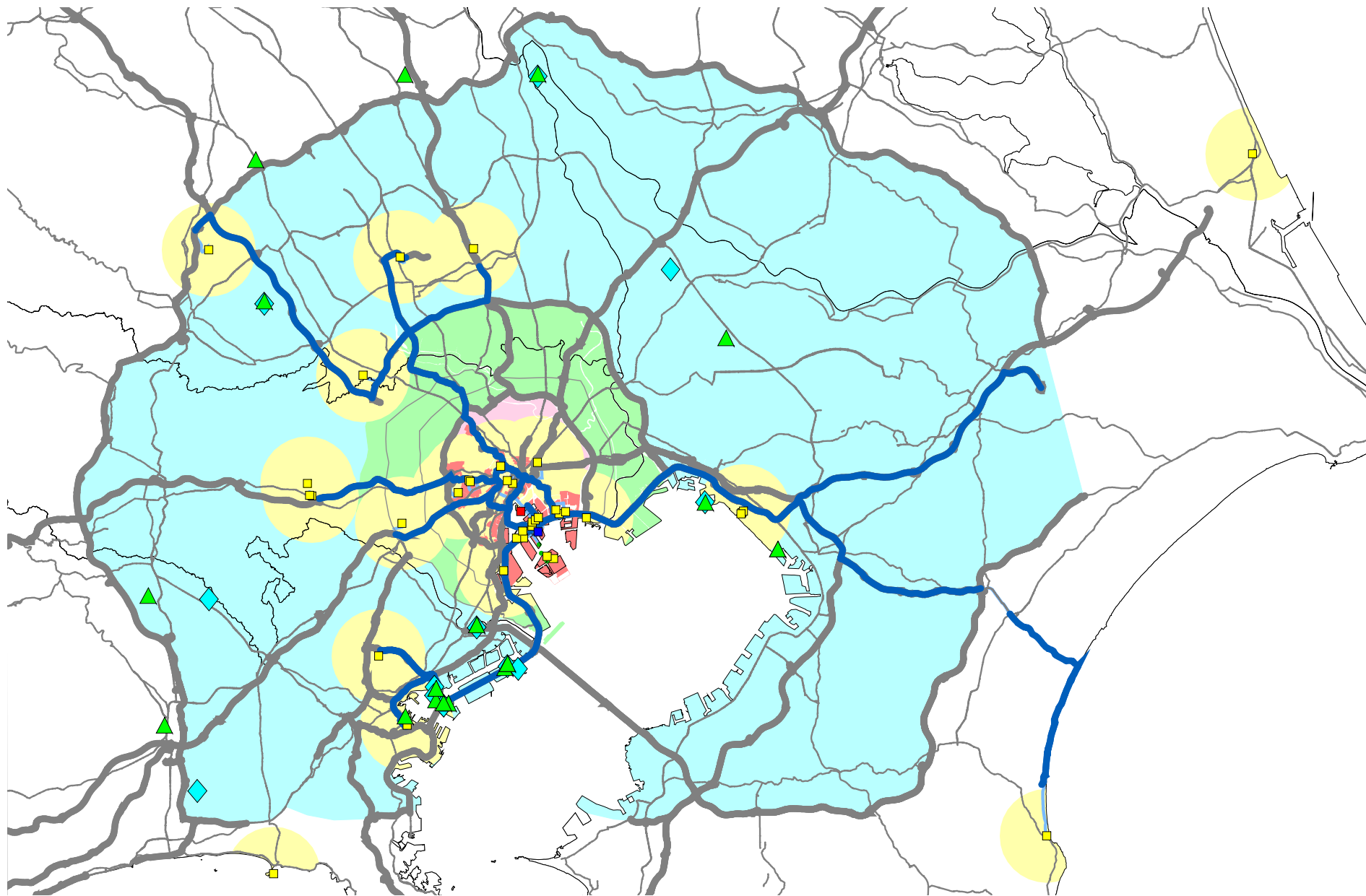
• 貿易業務施策

- 輸出入を大会会場となる東京港から横浜港等、近隣・その他港湾エリアへのシフト

• オリパラ時を想定したBCP訓練

- 在宅・サテライトオフィスを前提とした自然災害訓練（受注・出荷指図・在庫移動）

Ⅲ-1. 配送難易度別物流施策：発拠点MAP



【主要物流拠点】

- ◆ 味の素
- ▲ F-LINE

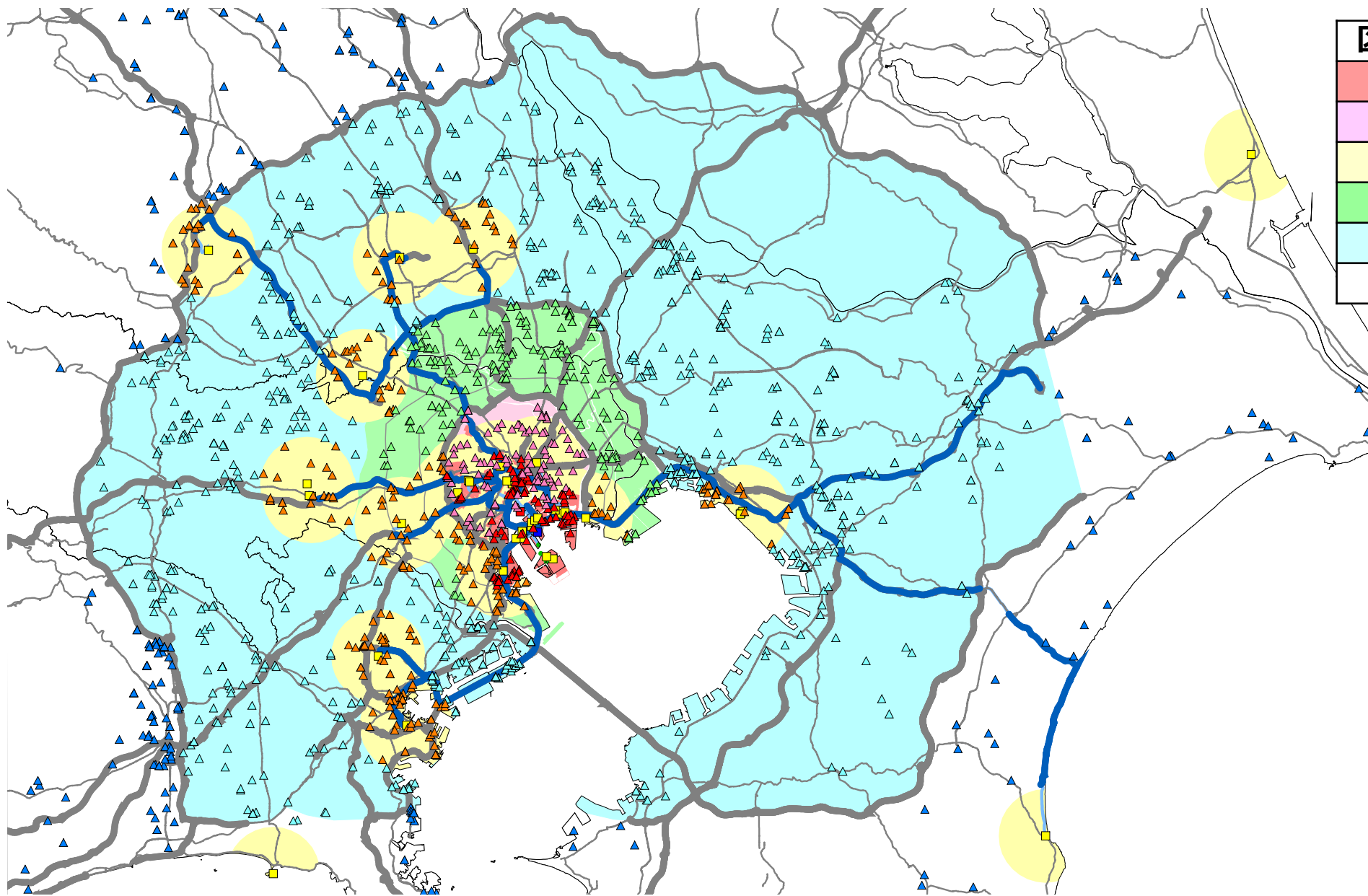
【オリンピック・パラリンピック】







- 競技会場
- 選手村
- 国際放送センター/
メインプレスセンター
(IBC/MPC)









【道路】

- ORN(高速道路)
- その他高速道路
- ORN(一般道路)
- ... ORNのうち整備予定
(一般道路)
- その他一般道路

Ⅲ-2. 配送難易度別物流施策：納品先MAP



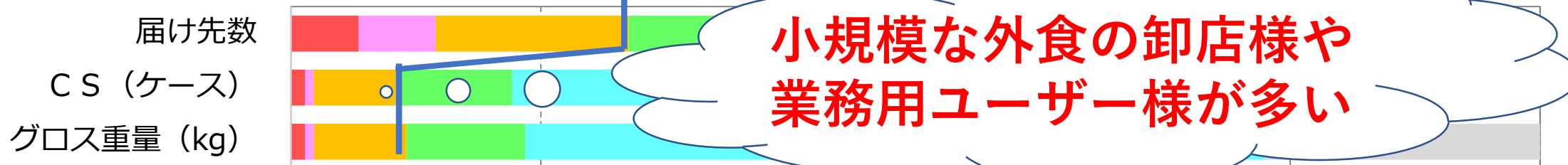
区分	MAPのエリア
	TDM重点取組地区
	首都高内側
	会場半径5km以内
	外環道内側
	圏央道内側
	圏央道外側

【オリンピック・パラリンピック】	
	競技会場
	選手村
	国際放送センター/ メインプレスセンター (IBC/MPC)
【道路】	
	ORN(高速道路)
	その他高速道路
	ORN(一般道路)
	ORNのうち整備予定 (一般道路)
	その他一般道路







Ⅲ. 配送難易度属性と対応策：まとめ

	MAPのエリア	配送区分	対応策（案）	ポイント
	TDM重点取組地区	最重点	早朝・夜間配送 検品の簡素化 倉出の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・大会で最も混雑するため配送時間を変え、検品も簡素化し速やかな納品を進める。 ・直送から倉出しの促進
	首都高内側			
	会場半径5km以内			
	外環道内側	重点	定曜日配送 検品の簡素化	定曜日配送と検品簡素化で納品作業を効率化する
	圏央道内側	対象	午後配送	混雑する午前から納品時間を午後にはずらす。
	全エリア（全国）	-	N+2・パレット	リードタイム延長による車両確保と乗務員の荷卸しを効率化を進める

■ 1)TDM重点取組地区内
 ■ 2)首都高内側
 ■ 3)会場半径5km以内
 ■ 4)外環道内側
 ■ 5)圏央道内側
 ■ 6)圏央道外側



IV. 計画概要

	2019年		2020年		
	7月～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
共通物流施策 推進(N+2等)					
配送難易度別 施策の確定					
行政・食品 各社との調整					
TDMに関する 広報					
営業BCP訓練	● オリパラ時、台風等を想定したサテライトのBCP訓練				
主要納品先と のテスト・調整					
本番化					

V. TDMを通じたお約束の実現

調味料・食品を確実にお届けする事で
お・も・て・な・し を円滑に実行。



製：メーカー

配：卸店

販：ユーザー
小売店

物流



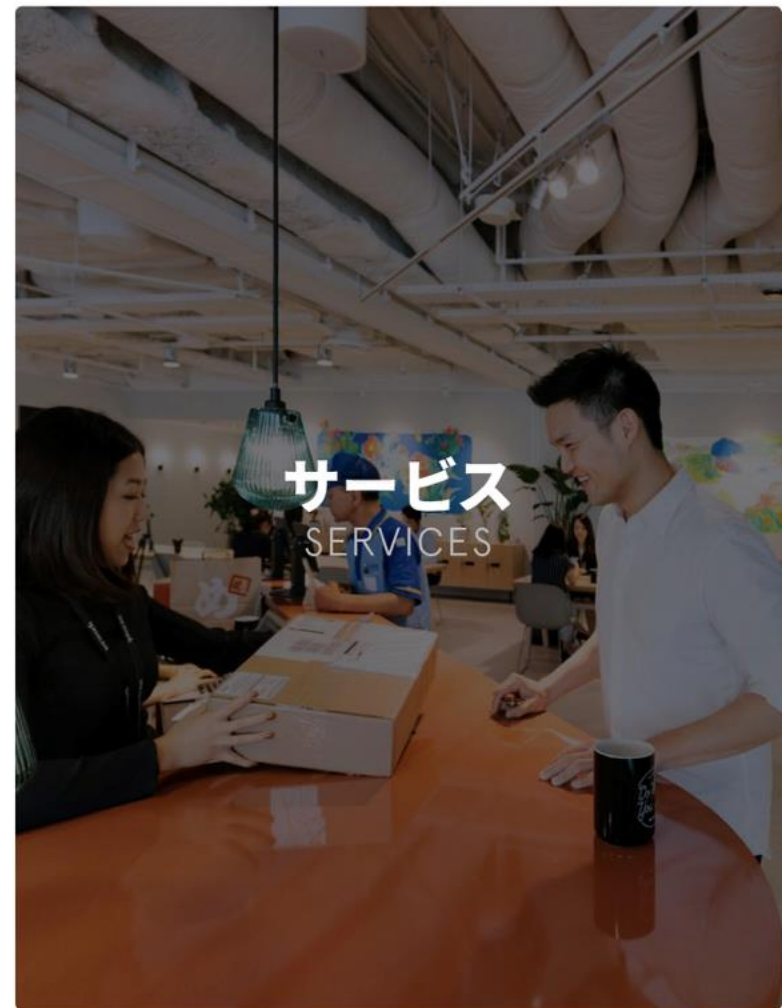
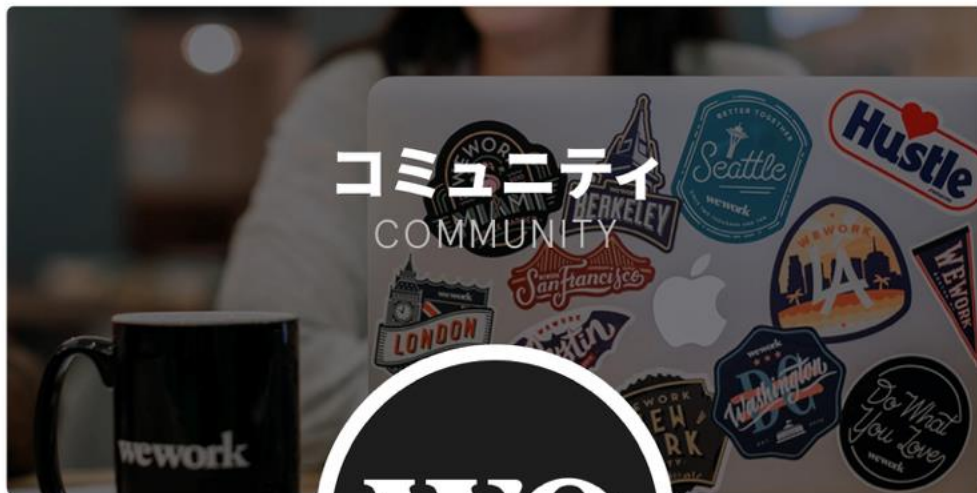
ありがとうございました。

WeWork Japan 合同会社

wework

WeWorkのサービス

OUR SERVICE



Japan ミッション

JAPAN MISSION

“ スタートアップから大企業までの様々な規模の会社が、
コラボレーションを通してイノベーションを生み出し、
生きがいを感じることができる環境を創造しつつ、
日本の働き方改革を促進すること ”

To lead Japan's workstyle reformation while empowering
entrepreneurs and companies of all sizes to collaborate,
innovate, and pursue their life's work

日本におけるWeWork

WeWork JAPAN

メンバー数

MEMBERS



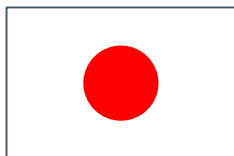
拠点数

PHYSICAL LOCATIONS



展開都市数

CITIES



JUNE
2019

12,300+

19

5

WeWorkで始める働き方改革

- WeWorkコミュニティでの出会い・繋がりから生まれる 新しいアイデアやコラボレーションによるビジネスの成長
- 国内5都市にある19のWeWork拠点の利用を通して、テレワークやサテライトオフィス導入による生産性や社員満足度の向上
- ウェルネスルームや授乳室の提供で、ワークライフバランスや多様な働き方の支援による組織内の多様化を促進

テレワーク・デイズ WeWork 無料トライアル

期間：

7月22日～8月30日

拠点：

WeWork オーシャンゲートみなとみらい（横浜）

WeWork メトロポリタンプラザビル（東京・池袋）

WeWork 御堂筋フロンティア（大阪）

WeWork なんばスカイオ（大阪）

申込方法：

テレワーク・デイズサイトの応援団体一覧リストより

Do what
you love

wework

西 条 市



【テレワーク導入の背景（課題）】

- 2004年の市町合併により、学校文化の統一化と教職員の多忙化の解消が急務となる。
- 校務支援システムにより、校務の電子化・省力化が実現したが、利用場所・時間に制約が課されてしまい、結果として利便性が大きく低下した。
→利便性の向上、ワークライフバランスの確立が課題に

【テレワーク導入の概要】

- 2016年4月から、小・中学校職員を対象にテレワーク導入開始。
- 個人所有PCを用い、時間や場所を選ばない、安全な持ち帰り校務が実現。※持ち帰り仕事を推奨するものではない。
- 2019年2月現在で59.2%が利用。
- 育児や介護との両立のために「なくてはならないもの」として利用する先生が多い。
- テレワーク導入後、校務の省力化、教職員の満足度向上等の成果があった。

校務の省力化

★導入前と比較すると教職員一人あたり162.6時間/年の短縮

先生

時間外にまた出勤したり土日になんか学校に出てこなくてもよくなり、とても便利になりました！

テレワークは秀逸なシステムだ。重要なデータを持ち出す必要がない。おかげで、子どもの成績の個人情報等を持ち歩くことなく家で安心して仕事ができるようになりました！

家で好きな時間に仕事ができるテレワークシステムは、子育て中で残業しにくい教職員にとって非常にありがたいシステムです！

教職員のテレワーク満足度 82%

親の介護のため、やむを得ず休職をしようと思っていたんですが、これで救われました！

校務支援システムやテレワークは本当に役立っており、なくてはならないものです。校務の情報化にも目を向けてくださったことに対して、教員として本当にありがたく思います！

毎日夜遅くまで残って仕事をしている教職員の負担を少しでも軽減したいといつも思っていました。子どもと向き合う時間の確保のために大変有効であると思っています！

校長先生

 **向洋電機土木株式会社**

世間一般の建設業のイメージ

きつい、危険、汚い、給料が安い、
休暇が少ない、格好悪い、臭い、
苦しい、くだらない、怪我をする、

無知、無理、無茶、無策、無謀、
未熟、未知、みすぼらしい、
みつともない、**未来がない、**

建設業は10K&10M!!



テレワーク

先駆者100選、総務大臣賞、厚生労働大臣賞

代表取締役社長 倉澤 俊郎

横浜市南区井土ヶ谷下町16-6

<http://www.kouyo-dd.jp>

昭和40年3月設立

屋内外の電気設備 設計・施工

従業員数39名

(男性26名、女性13名)



■サテライトオフィス

建設業では、ある一定以上の現場になると『現場事務所』を設置します。現場事務所とは、事務作業をするために机やコピー機などの事務機があり、打ち合わせ用にテーブルがあったりします。そして電気や水なども使える環境にあります。つまりICTを整備すればそこは**サテライトオフィス**になるのです。普通の会社ではサテライトオフィスを設置すれば、様々な費用負担とランニングコストがかかるのですが、建設業では元々あるものに対しての追加費用のみですので圧倒的に安く済むのです。



そして現場が複数あるということは、それだけサテライトオフィスの数が複数あるということになっているので他業種よりもさらに推進スピードと実証データが集まっており、トライ&エラーができるようになるのです。



■コスト削減

全てがテレワーク単体の成果ではありませんが、取組後に顕著に数字に表れた物として

ガソリン使用 H20年度34,000ℓ ⇒ H23年度 28,000ℓ ▲6,000ℓ

本社電力使用 H20年度32,000kwh ⇒ H23年度 27,000kwh ▲5,000kwh

労働時間平均 H20年度2,100時間 ⇒ H23年度 1,900時間 ▲200時間

H20年度より社員が19人増えましたが…(H20年対比)

H30年度 ガソリン 27,285ℓ ▲6,715ℓ

H30年度 本社電力 24,966kwh ▲7,034kwh

H30年度 労働時間 1,800時間 ▲300時間

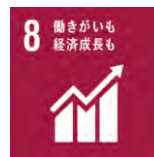
■会社全体の動向

テレワーク単体の成果ではありませんが…

売上 H20年度 約8億 ⇒ H30年度 約16億 過去対比2倍

社員 H20年度 20名 ⇒ H30年度 39名 過去対比1.9倍

女性 H20年度 1名 ⇒ H30年度 13名 過去対比13倍



シスコシステムズ合同会社



シスコ働き方改革の歩み（目的と背景）

第一段階 2001年 テレワーク規程 導入

- ✓ 生産性の向上（特に外勤営業社員）
- ✓ 危機時における業務継続性確保
- ✓ 従業員満足度の向上（ワークライフバランス）

第二段階 2007年 テレワーク対象者の拡大

- ✓ 子育て期間中の働き方の見直し
- ✓ ブロードバンドの普及
- ✓ お客様への更なる価値の提供

オフィス移転

- ✓ フリーアドレス
- ✓ 豊富な打合せスペース
- ✓ ペーパーレス化

第三段階 2011年 インクルージョン&ダイバーシティ(I&D) 活動開始

- ✓ 従業員の多様性への対応
- ✓ 通勤時間を短縮、移動による環境への配慮/オフィスコスト削減、節電

震災発生

第四段階 現在、市場変化に対応しうる組織体制作り

- ✓ ダイナミック組織の実現：いかに市場変化に対応しうる組織体制をつくり、社員のエンゲージメントを高め、イノベーションを促進できるか

東京2020

効率化
生産性向上



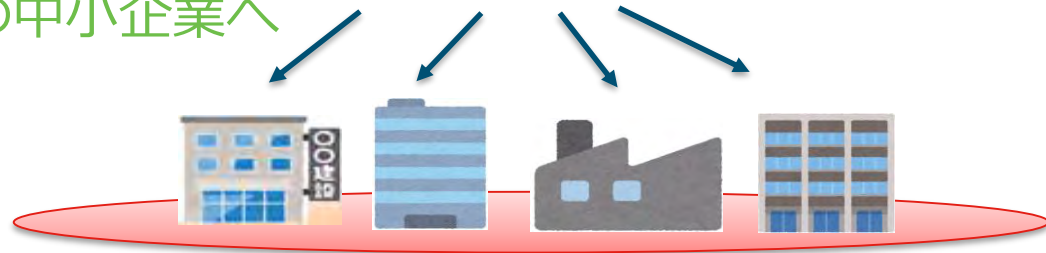
東京2020オフィシャルパートナー（ネットワーク製品）

イノベーション
促進

働き方改革を全国の中小企業へ ～テレワーク導入推進コンソーシアム



全国の中小企業へ



- すぐにテレワークをスタートできるパッケージを提供
- 対象企業規模：従業員300名以下
- 詳細はテレワーク推進フォーラムのWebsiteへ



住友商事

1. 当社の人材戦略の基本コンセプト



1人ひとりのちがいを
認め、尊重し、受け容れる

“Diversity & Inclusion”
～多様な力を競争力の源泉に～



2. 当社のテレワーク・スーパーフレックス制度の位置づけ

新たな価値創造に
チャレンジする組織へ

変化を生み出すチャレンジ

全社目標向かって一丸となってチャレンジ

多様な個々人の力を活かし、
最大限発揮できる環境整備

多様なプロフェッショナルを活かす

付加価値を生み出す働き方の追求

多様な人材の確保・育成・活用

グローバル連結ベースでの
戦略的人材マネジメント

戦略的人材配置

グローバル連結ベースでの適時・適所・適材

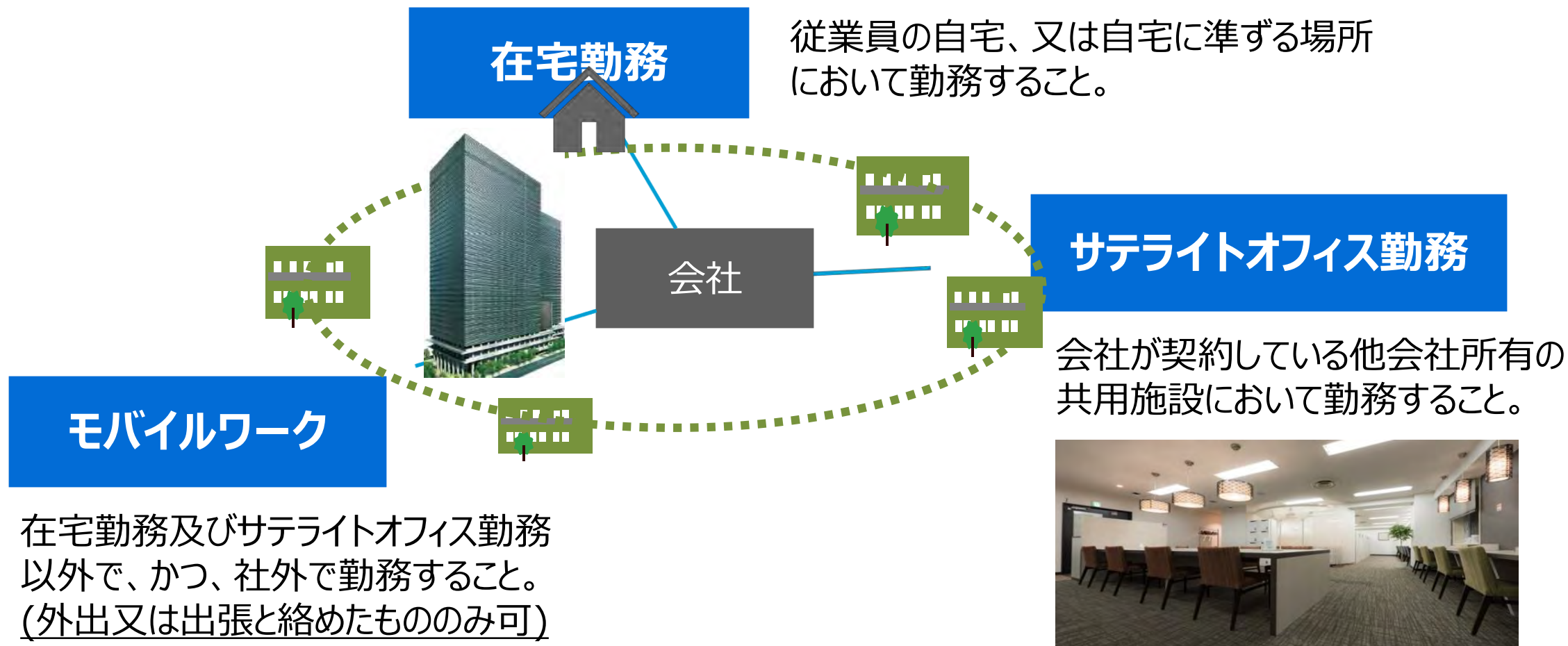
将来の経営幹部候補の育成

テレワーク・スーパーフレックス制度の導入

従来の枠（働く時間・場所・スタイル）に捉われない自律的かつ柔軟に働く環境を整備し、心身の健康増進、自己価値向上のための時間創出等、高い付加価値を生み出すアウトプット志向の働き方の実践を促進し、1人ひとりの最大限のパフォーマンス発揮に繋げる

3. 当社のテレワーク制度

当社では、原則、全社員を対象に「在宅勤務」、「サテライトオフィス勤務」、「モバイルワーク」の3形態のテレワークを導入しています。



4. 「テレワーク・デイズ2019&スムーズBiz推進期間」 実施概要

Workstyle Transformation 2019

実施施策

テレワーク活用促進策

スーパーフレックスを利用した
時差Biz奨励

アワード創設

実施期間

2019年7月22日～2019年9月6日

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15 海の日	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	8/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 山の日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
9/1	2	3	4	5	6	7

“テレワーク・デイズ2019”
計5日間以上の実施を呼びかけ
※都内企業は、2019年7月22日(月)～8月2日
(金)、8月19日(月)～8月30日(金)に
集中実施



ご清聴ありがとうございました！！

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

「2020東京大会」開催期間中＝年間最大繁忙期

「人」の流れ

目標値

企業の協力による
混雑緩和

①スライドワーク活用促進

18年4月から、社員一人ひとりが
出勤時間を選択可能

⇒出勤時間の分散、通勤負担の軽減

②テレワークテスト実施

18年7月に一部の本部勤務社員が
自宅から近い事業所で勤務する

テストを実施

19年度内に一部の本社勤務社員が
自宅で勤務するテストを実施予定

⇒本社出勤人数の分散

「人」「モノ」の動き

通常：年間最大繁忙期

+

オリンピック



「モノ」の流れ

目標値

休日並みの
交通量の実現

①今後のイベント対応での PDCAサイクル精度向上

- ・ G20大阪サミット（6/28～29）
- ・ ラグビーワールドカップ
（9/20～11/2）

- ・ MGC(9/15)

②共配センターとのPJキックオフ

◇STEP 1：19年5月～12月

- 1) 課題・影響店舗抽出
- 2) 仮説作り（実施項目）

◇STEP 2：～20年3月

- 1) 特別コース作成、修正

株式会社 セールスフォース・ドットコム



2019年の取組み

salesforce

柔軟な働き方の啓蒙

地方自治体と協業した生産性を高める働き方
マインドチェンジ、デジタル人財育成

- ✓ 真の働き方改革
- ✓ イクオリティ: 誰もが平等に能力開発ができる場所を選ばず活躍できる
- ✓ 人材交流からのデジタル人財育成
- ✓ イノベーション・スタートアップ創出環境づくり

全社員(通期)
フレキシブルワークの
実施と周辺啓蒙活動
(テレワーク、時差、
サテライト、
ワーケーション)



活動を通じて気づきを
政策提案
フィードバック



地方自治体協業
チームdeテレワーク
人材交流



地方自治体協業
行政・学生

デザインシンキング
ワークショップを通じ
た課題解決xITの体験



期間中
1:1:1 ボランティア
活動参加の並行実施



社内横断的な若手
プロジェクトリーダー
の擁立
(地方自治体との連携プ
ロジェクトもリード)

地方自治体協業
企業/行政/学生
向けテレワーク&
働き方啓蒙活動




地方自治体協業
学生向け
hpaPaaS活用した
アプリ開発体験



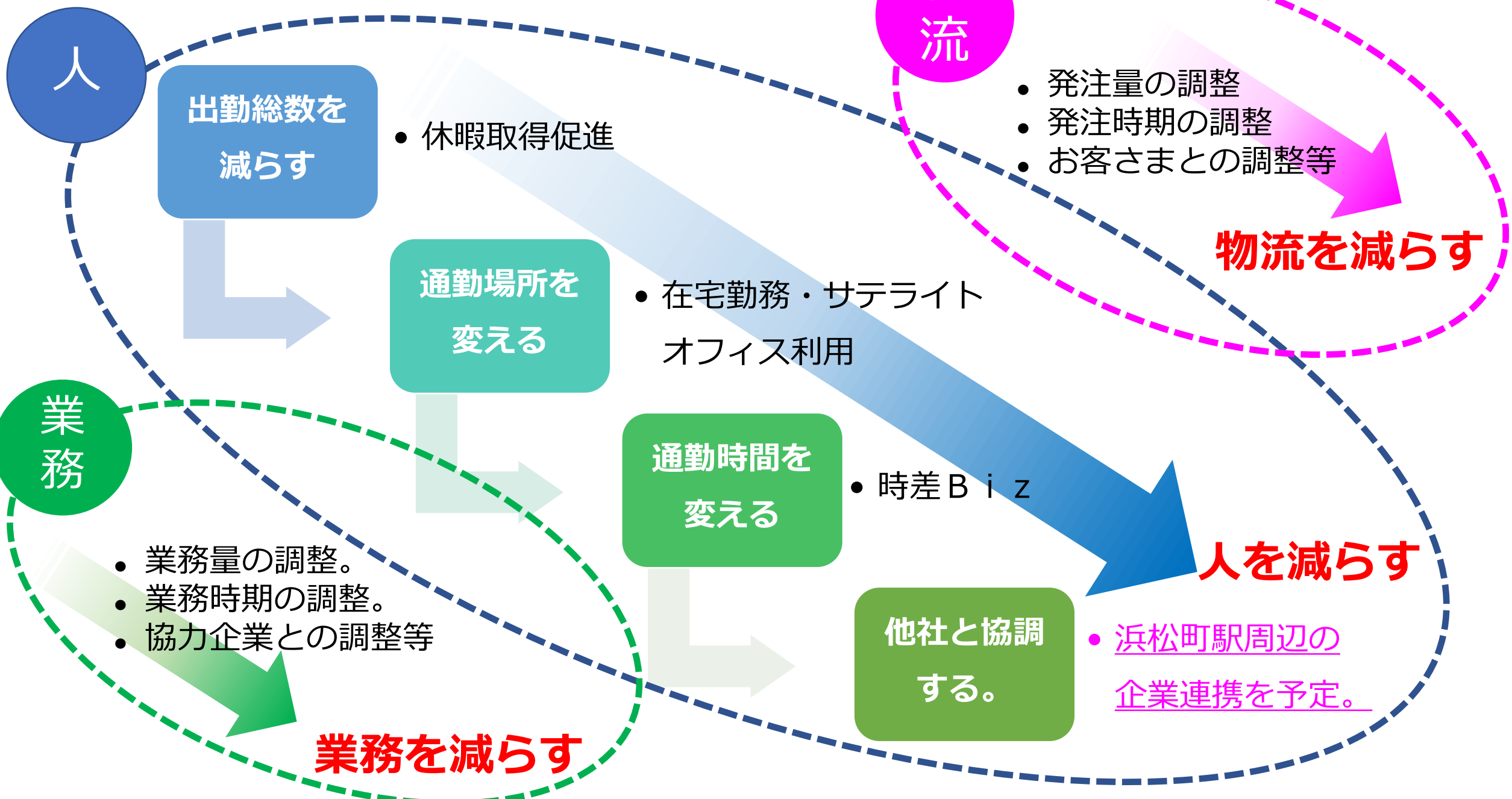
東京ガス株式会社



■ 会社概要

会社名（商号）	東京ガス株式会社（東京瓦斯株式会社）	 <p>東京2020オフィシャルガス・ガス公共サービスパートナー</p>
本社所在地	東京都港区海岸1-5-20	
創立	明治18（1885）年10月1日	
資本金	1,418億	
主要な事業内容	<p>○ガス 都市ガスの製造・供給および販売、リキッドガス事業、LNG販売等</p> <p>○電力 電気の製造・供給および販売</p> <p>○海外 海外における上流事業、中下流事業</p> <p>○エネルギー関連 エンジニアリングソリューション事業、ガス器具、ガス工事、建設等</p> <p>○不動産 土地および建築の賃貸・管理等</p> <p>○その他 情報処理サービス事業、船舶事業等</p>	
弊社HP	https://www.tokyo-gas.co.jp/company.html	

■東京ガスのTDMの取り組み



見ているのは『感動の先にある未来』
～ 頑張る人に、いいエネルギーを。～



東京2020オフィシャルガス・ガス公共サービスパートナー

<http://www.tokyo-gas.co.jp/tokyo2020/>



東京急行電鉄株式会社



当社路線図



路線数 : 鉄道7 軌道1 計8路線
営業キロ : 104.9 km
駅数 : 98駅
輸送人員 : 約11億8900万人/年
(2018年度) (約326万人/日)

鉄道の利用者のオフピーク乗車等の取り組み

①時差ビズライナー・時差ビズ特急

東横線・田園都市線で臨時列車を運行



乗車するとまれなく特典プレゼント



②テレワーク促進

サテライトオフィスNewWork
ポイント2倍



③オフピーク特典

約30種類のグッチョイクーポン配信

東急線アプリ



朝の過ごし方、選べるっていいかも。

グッチョイ
モーニンググ 
GOOD CHOICE MORNING

④朝活講座

二子玉川で
“スムーズBiz応援！朝活講座”を開催



社員のワークスタイル・イノベーションの取り組み

【従前】 全社画一的・時期固定の働き方（サマータイム・クールビズ等）

【現在】 通年で、社員各自が職務・環境に合わせた働き方を選択（時間・場所等）

期間中の取組強化

①時差Biz

- 分散出社、特に7時30分始業
「アーリーワーク」の推奨
- 7時30分始業のインセンティブ
- ゆう活イベントの企画



②テレワーク

- サテライトオフィス勤務
- 在宅勤務・モバイルワーク
(希望部署でのトライアル実施)



③休暇取得

- 連続休暇取得
- 部署型ワーケーション
+ 延泊休暇



④会議・イベントの削減

- 会議、イベントの削減を各部門に直接依頼
→公共交通移動を削減

トヨタ自動車株式会社

TOYOTA

東京2020に向けたトヨタのTDMの取り組み

<基本方針>

- ▼ オリンピック及びパラリンピックのワールドワイドパートナーとして、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会の会長企業として、**大会成功に最大限貢献**する
- ▼ 働き方改革の促進 及び 東京2020を契機とした**従業員のチャレンジ・成長の機会**として最大限活用する

<大会期間中の取り組み案>

東京地区勤務者を対象に

- ① 原則全員在宅勤務（テレワーク）の推進
- ② ボランティア、自己研鑽目的の休暇取得の推進

テレワーク・デイズ2019&スムーズBiz推進期間中の取り組み

テレワーク・デイズ コアデーの7月24日（水）を含む計4日間、東京地区勤務者を対象に、原則終日在宅勤務トライアルを実施

- テレワークに必要なIT環境整備・業務運用方法検討
- 社内外関係者への周知
 - ✓ 大きな会議体・イベントの開催回避
 - ✓ SKYPE会議・電話の積極利用
 - ✓ 社内便送付の自粛（PDFを活用）
 - ✓ 東京地区への出張回避 等



テレワーク以外の東京2020を契機に開始した取り組み

▼従業員の社会参画促進

- 障がい者スポーツの体験会の開催、大会応援・ボランティア
- 心のバリアフリー研修の実施
- 地域のボランティア活動への参画



▼従業員の健康増進

- 「FUN TO WALK(*)」の推進

* スムーズビズと連動して通勤時の靴や服装を歩きやすいものに替えてより積極的に歩く習慣を奨励



日本マイクロソフト株式会社 (MINDS)



MINDS

(Millennial Innovation for the Next Diverse Society)

~異業種連携によるミレニアル世代の働き方改革推進コミュニティ~

Eat Well, Live Well.



JAPAN AIRLINES



Panasonic



人を、想う力。街を、想う力。



Mission

すべての個人が自分らしく
働く社会を実現する

Vision

業界、会社の枠を超えたミレニアル世代から
多様性ある働き方を日本社会に浸透させる

MINDS

MINDSの活動の方向性

日本の労働人口の減少

生産性向上を目指すための
多様な働き方の受け入れ

テレワークを日本社会に広め、
東京オリンピックパラリン
ピックに向け混雑緩和実施

MINDS

“多様性ある働き方”の実現

評価軸

知

満足度

職場環境

マインド

現在と今後の働き方の
”評価軸”の変化について？

人生100年時代の働く人の
スキルアップとは！？

ミレニアル世代の
モチベーションアップとは
また他の世代との違いは？

時間・場所の制約から
解放するためには！？

働くスタイルの多様性を
実現するには？

“多様性ある働く社会”を実現し、定性的・定量的に効果測定し、社会に向けて提言する。
東京オリンピックを単なるリモートワーク月間にせず、日本の多様な働く社会の実現を目指し持続可能な社会の創造を
実践する。異業種企業の集まりとしてMINDSは“多様な働き方”の知見をため自社会社・日本社会に還元する。

MINDS

ミレニアル世代の台頭

2025年までに世界の労働人口の **75%** が35歳以下に

タッチ

ボイス

リモコン

マウス



52-71
years old

Baby boomers



35-52
years old

Generation X



18-35
years old

Millennials

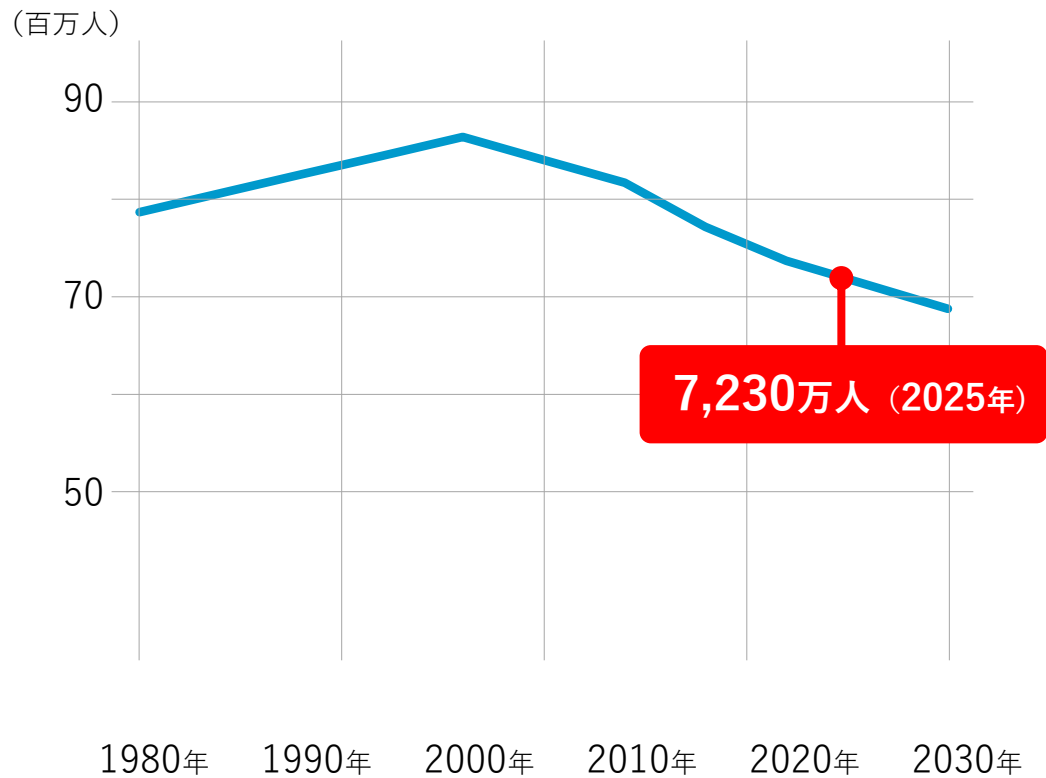


18 and
below

Generation Z

イノベーションの創出を牽引する“エージェント”

日本における生産年齢人口の推移

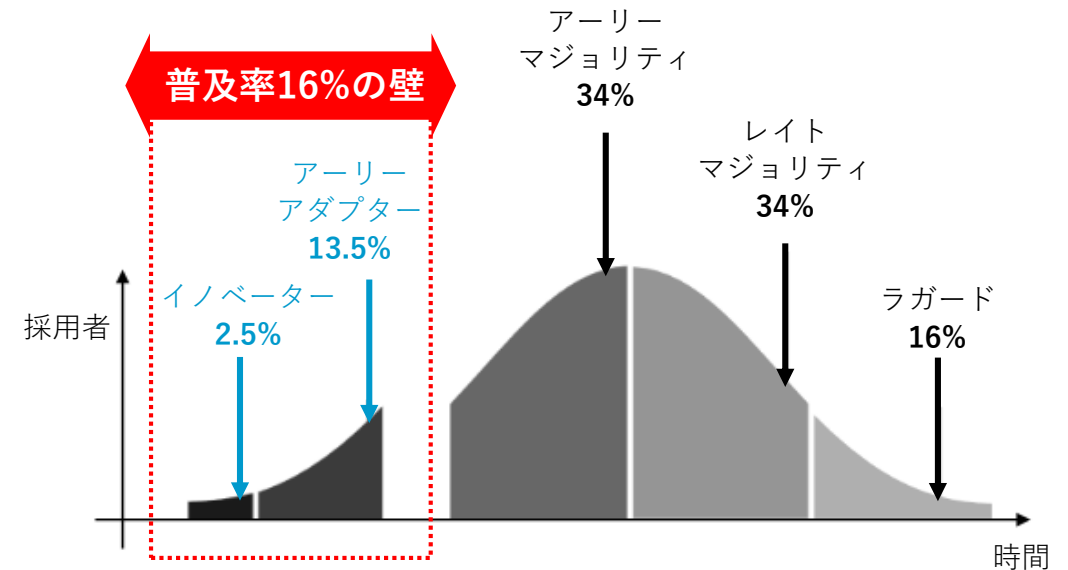


出展：独立行政法人 労働政策研究・研修機構

“働き方改革エージェント”のスケール

$$7,230\text{万人} \times 50\% \times 16\% = 580\text{万人}$$

(生産年齢人口) (ミレニアル率) (普及率の壁)



イノベーター理論：エベレット・M・ロジャース

ミレニアル世代の皆の意識は大きく2つの傾向がある

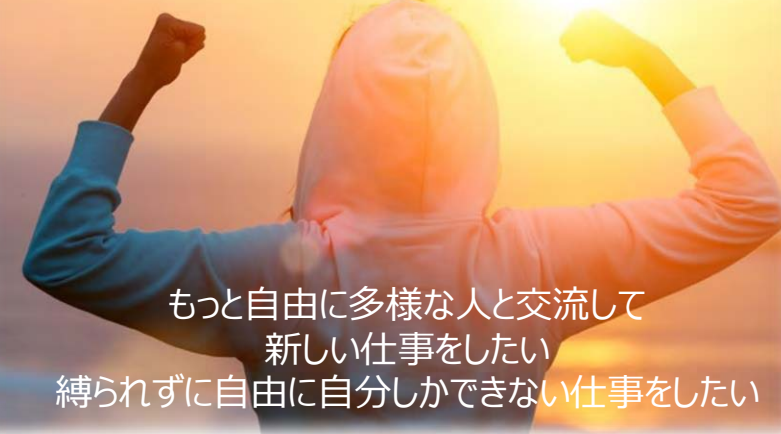
理想の働き方って？

- チームA 物質的豊かさは少なく、**精神的豊かさ**への思いが多い。
・何か**1つのことに縛られることは嫌だ**

・具体的なアクションよりも
- チームB **「心的障壁（多様な働き方を尊重する）」を取り除くことが重要。**
・制約なく自由に働ける環境を望む
→場所や時間に縛られない
・アウトプット（時間や量ではなく質）で評価して欲しい
- チームC 組織の枠やしがらみにとらわれず、
楽しく自由に働ける環境
- チームD **場所依存しない働き方を実現したい**
人にあった仕事のスタイル
- チームE いきいきと自由に働きたい
時間・場所に縛られている
- チームF 多様な人材とそばにいてコミュニケーションし、視野を広げる/スキルアップをしたい
想いを叶える
- チームG 規則の柔軟性とその柔軟性を受け入れる
文化が形成されている職場環境
- チームH しばられないことの自由と守られることで得られる**自由**の両立
パラレルワーク・オフィス環境の快適化
働き方のセルフマネジメント

意思

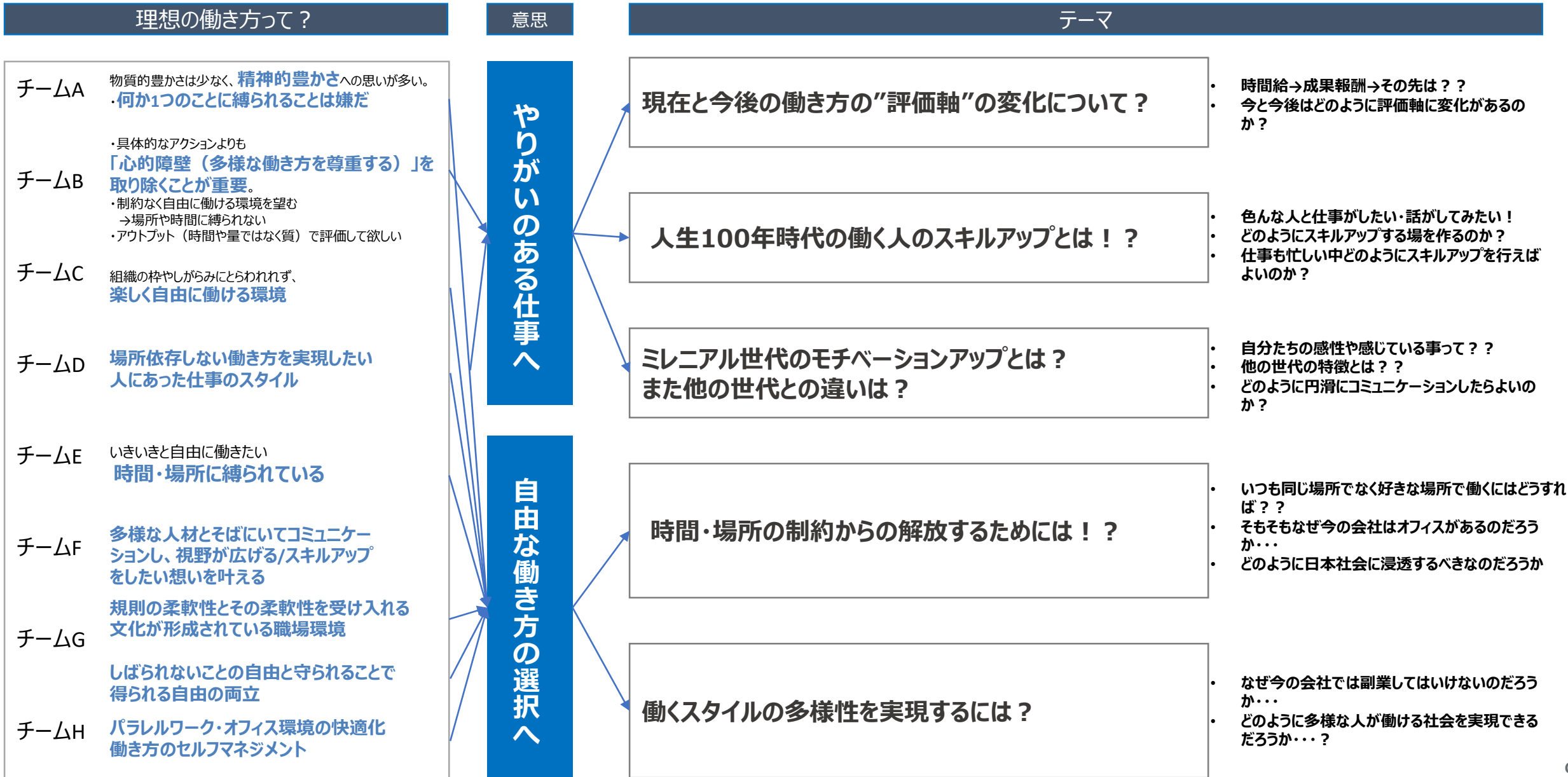
やりがいのある仕事へ



自由な働き方の選択へ



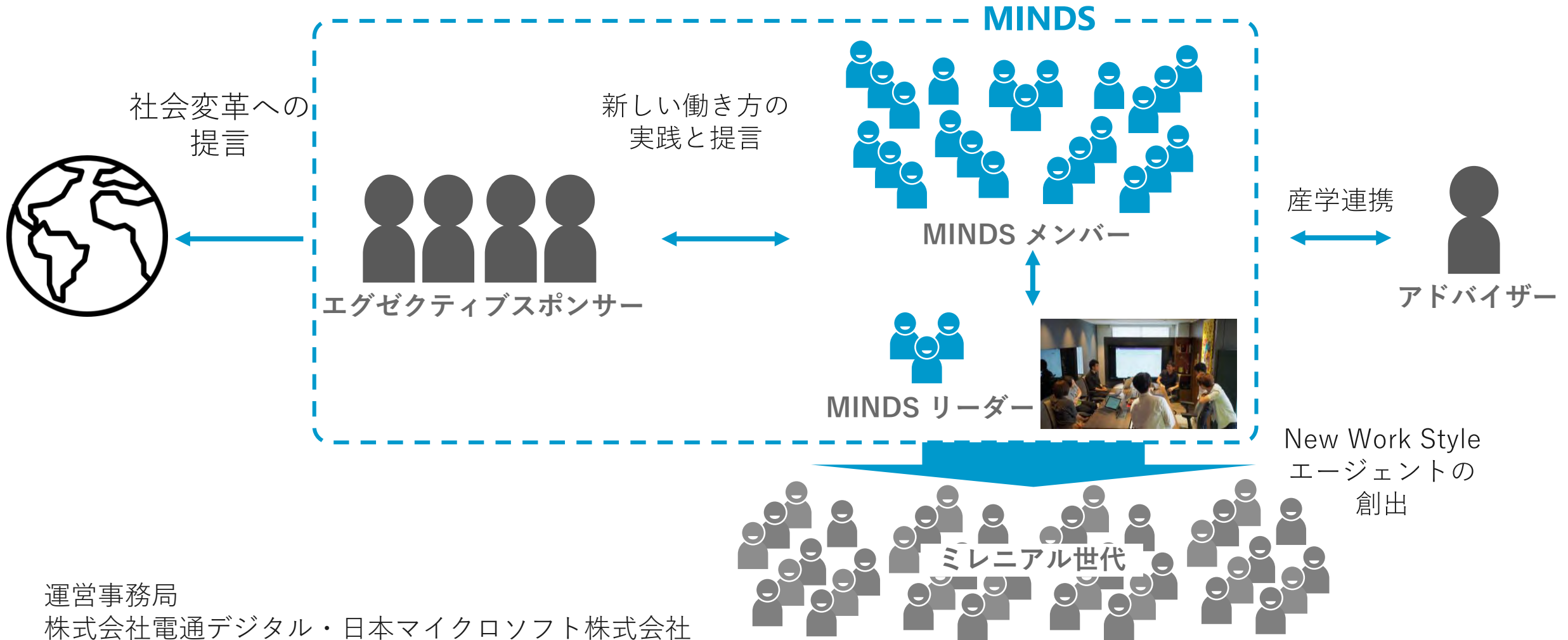
下記5つのテーマに分けられる



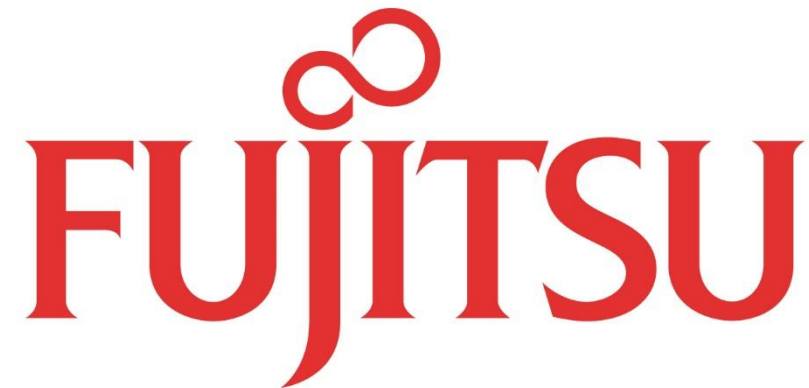
MINDS

(Millennial Innovation for the Next Diverse Society)

~異業種連携によるミレニアル世代の働き方改革推進コミュニティ~



富士通株式会社



17年4月 テレワーク勤務制度導入

FUJITSU

自宅

出先

サテライト

富士通株式会社 35,000人全員が対象

関連部門で連携し推進

制度・ルール

制度



三位一体

目指すべき
働き方

ICT



ICT・ファシリティ

職場



意識改革

テレワークの更なる推進



1週間連続のテレワークを推進

対象：重点取組エリアに勤務する社員（28,000人）

期間：集中取組期間（7/22～8/2, 8/19～30）のいずれかの週


グループ全体で50,000名を超える従業員が「テレワーク・デイズ」に参加

2020年に向けて





東京オリンピック・パラリンピック期間中は、
夏季休暇（一斉年休を含む）取得と
1週間連続のテレワーク実施により、
オリンピック期間中の重点取組地域内への
従業員の流入を70%減とすることを目指します。

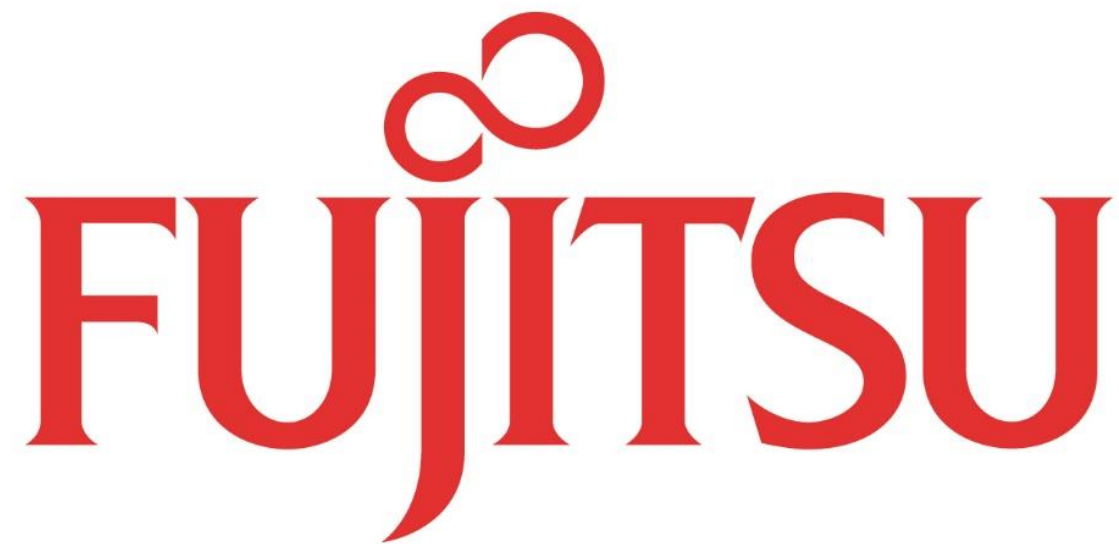
最後に

FUJITSU



富士通では、お客様や社会の
デジタルトランスフォーメーションを
支援するため、
Co-creation work style
(お客様を含めた社内外の人が必要な時に
必要な場所で一緒に働き新しい価値を創造する)
の実現を進めます





shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

三井住友海上火災保険株式会社

MS&AD

三井住友海上

MS&ADインシュアランスグループ

保険料等取扱高

5兆3,355億円

国内お客さま数

個人4,200万人・法人240万社

国内損保事業

▽三井住友海上

- ▽あいおいニッセイ同和
- ▽三井ダイレクト

国内生保事業

- ▽三井住友海上あいおい
- ▽三井住友海上プライマリー

金融・リスク事業

- ▽三井住友海上
キャピタル
- ▽インターリスク総研

海外事業

- ▽世界46か国・地域
- ▽MSIG
- ▽MS Am lin

▽正味収入保険料 1兆4,696億円

▽社員数 19,850名

▽代理店数 約40,000店

▽国内営業部支店 116 部支店

▽国内営業課支社 492 課支社

▽保険金お支払拠点 227 拠点

人財戦略で目指す姿

**社員一人ひとりが、健康で、やりがいを
持っていきいきと働ける**

多様な社員全員が成長し、活躍する会社

の実現をめざしています！

多様な社員全員の成長と活躍（ステップアップ）



2019年度取組（コンセプト）

働き方改革 **Step-Up 2019**

全員の成長と活躍
（組織・個人の目標達成）

個人の取組








1 働きがい・やりがい × 2 能力・スキル × 3 新しいことに挑戦する時間

組織の取組

4 チームワーク

東京2020大会に向けたこれまでの準備

環境整備（2万人を対象）

-  シンクライアントPC
-  400拠点の無線LAN化
-  TV会議システム（全店導入）
-  LINEワークス（ビジネスチャット）
-  シェアオフィス（首都圏）
-  卓上POP（ステイタス表示札）
-  時間単位年休制度



在宅勤務



モバイルワーク
（直行・直帰）



時差出勤
（シフト・時間休暇）

【ご参考】卓上POP



テレワーク・デイズ2019&スムーズビズで実施すること

テレワークを軸に時間を創出

- 💡 朝活または夕活で**自己学習**
- 💡 在宅勤務＋午後半休で、
午後は**ボランティア活動**
- 💡 仕事とバカンスを両立して
リフレッシュ（試行実施）



自己研鑽
(ステップアップ)



社会貢献活動
(SDGs)



ワーケーション試行
(地方創生取組)

テレワーク・デイズ2019&スムーズビズの実施（概要）

- 💡 6月下旬より、**約200名で強化取組**をスタート
- 💡 期間は7/22～9/6
重点日（7/22～8/2、8/19～8/30）は集中取組
- 💡 本社（お茶の水）を中心に**約5,000名が対象**
- 💡 **勤務パターン（モデル）**を提示し、各自が選択
- 💡 アンケート結果をもとに、**11月テレワーク月間に向けた準備**



**三井住友海上は
全力で
東京2020大会を応援します！**

ご静聴ありがとうございました。